

【2 会議】

(1) 教育長挨拶

(2) 会議録署名委員の指名について

- ・ 選出方法について
- ・ 会議録署名
 - 会議録作成後に内容を確認いただき、署名・押印をお願いします。

(3) 議事

滝沢市指定文化財の諮問及び答申について

- ・ 天然記念物 カワシンジュガイ
- ・ 無形民俗文化財 滝沢市さんさ踊り
- ・ 無形民俗文化財 大沢さんさ踊り

滝沢市指定有形文化財の諮問及び答申について

①

資料 1

種別	天然記念物
名称	カワシンジュガイ
生息地	滝沢市内河川（木賊川、市兵衛川、越前堰、仁沢瀬川、 苧桶沢、巡り沢、逢沢）
その他	別添指定調書のとおり

②

資料 2

種別	無形民俗文化財
名称	滝沢市さんさ踊り
所在地	滝沢市鶴飼御庭田 93－5
保存団体名	滝沢市さんさ踊り保存会
その他	別添指定調書のとおり

③

資料 3

種別	無形民俗文化財
名称	大沢さんさ踊り
所在地	滝沢市大沢二タ又 21－7
所有者（管理者）	大沢さんさ踊り保存会
その他	別添指定調書のとおり

滝沢市天然記念物指定文化財指定調書

資料 1

種別	天然記念物
名称	カワシンジュガイ
生息地	滝沢市内河川（木賊川、市兵衛川、越前堰、仁沢瀬川、芋桶沢、巡り沢、逢沢）
内容および指定理由	<p>カワシンジュガイ <i>Margaritifera laevis</i> はイシガイ目カワシンジュガイ科の二枚貝である。最高水温が 20℃以内と冷涼で、川底に砂礫が堆積した河川を生息環境としている。幼生がサクラマス(ヤマメ) <i>Oncorhynchus masou masou</i> に寄生する生活史を持ち、寿命は 100 年程度、8 年ほどで性成熟する。国内では北海道と本州に分布し、国外ではサハリンに分布する。</p> <p>全国的に個体数が減少しており、環境省レッドリストでは絶滅危惧 IB 類に分類されている。種の保存法では「特定第二種国内希少野生動植物種」に指定され、商用取引や頒布目的の採集が禁止されている。</p> <p>岩手県ではかつて多くの河川に本種が生息していたが、戦後、河川改修、水質汚濁、水害等により、各河川で減少あるいは絶滅した。本県は本州の中では個体数が多い地域であるが、生息環境に問題がある場所も多い。</p> <p>滝沢市には個体数が特に多い河川がある一方、絶滅に近い河川もある。また、繁殖が見られる河川において工事が予定されているなどの問題がある。本種を保全していくことで、河川とその周辺の良い環境が将来にわたり保全されることが期待される。滝沢市のように、住宅地に近い河川においても本種が数多く生息し、繁殖している地域は貴重である。滝沢市の河川環境が、他では見ることのできない独自の価値を持つことを象徴する生物として、カワシンジュガイを滝沢市の天然記念に指定する。</p>
参考事項 参考文献	<p>佐竹邦彦・沢田邦久・大畑靖夫（1984）岩手県における縄文時代以降のカワシンジュガイ（イシガイ目、二枚貝綱）の衰退について．岩手県立博物館研究報告 2: 1-11.</p> <p>竹内基・柿野亘・岡田あゆみ（2016）カワシンジュガイ類研究の現状と課題（2016）青森自然史研究 21: 109-129.</p> <p>竹内基・佐竹邦彦・中村学・菊地憲明（2007）岩手県における淡水二枚貝類の分類と現状．岩手県立博物館研究報告 24: 15-32.</p> <p>渡辺修二（著）滝沢市教育委員会文化振興課（編）（2022）滝沢市文化財調査報告書第 36 集「滝沢市カワシンジュガイ生息調査報告書」</p>

滝沢市指定無形民俗文化財指定調書

資料 2

種 別	無形民俗文化財
名 称	滝沢市さんさ踊り
所 在 地	岩手県滝沢市鶴飼御庭田 93-5
保 存 団 体 名	滝沢市さんさ踊り保存会
内容および指 定 理 由	<p>さんさ踊りは、盛岡を中心としてその周辺地域に伝承される盆踊りを起源とする民俗芸能である。8月初旬に盛岡市内で太鼓踊りパレードとして披露される「盛岡さんさ踊り」は、昭和 53 年に各地域に伝わる「さんさ踊り」の要素を統合して創作されたもので、異なるものである。地域に伝承されてきたさんさ踊りは「伝統さんさ踊り」と区別する。</p> <p>「滝沢市さんさ踊り」は、滝沢市鶴飼地区に伝承されてきた伝統さんさ踊りを基礎として、昭和 54 年に保存会（滝沢市さんさ踊り保存会）を発足させ、伝承・普及が行われている民俗芸能である。熊野神社、田村神社の祭礼に奉仕するほか、盆行事や各地のイベントにも出演する。</p> <p>滝沢市さんさ踊り保存会の規約には、「さんさ踊り・笛・太鼓等の指導及び普及」「滝沢夏祭り並びに盛岡夏祭り、その他各地のさんさ踊りに協力参加する」「踊り、鳴り物の技術向上と会員相互の親睦をはかるための研修会を開催」を目的として、「滝沢市全域と近隣で此の趣旨に賛同するもの」で組織するとある。</p> <p>現今、各地で担い手が不足し、少なくない民俗芸能が中断、中絶、廃絶するなか、伝統をいかに守りながら、後世にその姿を正しく伝えていくか、これも地域の民俗芸能に突き付けられたもう一つの重要な課題である。</p> <p>滝沢市中心部の鶴飼地区に伝わる伝統さんさを伝承しながら、150 人という多くの会員を有してその担い手をしっかり確保しつつ、各地で実績を積みながら伝統を後世に伝えていく方策を強く打ち出しているさんさ踊りである。その活発な活動は、無形民俗文化財のもう一つの在り方を示すものと評価したい。</p>
参 考 事 項 参 考 文 献	<p>楽譜・録音テープ</p> <p>『岩手県の民俗芸能 岩手県民俗芸能緊急調査報告書』（岩手県教育委員会、1997 年 3 月）</p>

滝沢市指定無形民俗文化財指定調書

資料 3

種 別	無形民俗文化財
名 称	大沢さんさ踊り
所 在 地	岩手県滝沢市大沢二又 21-7
保 存 団 体 名	大沢さんさ踊り保存会
内容および指 定 理 由	<p>さんさ踊りは、盛岡を中心としてその周辺地域に伝承される盆踊りを起源とする民俗芸能である。8月初旬に盛岡市内で太鼓踊りパレードとして披露される「盛岡さんさ踊り」は、昭和 53 年に各地域に伝承される「さんさ踊り」の要素を統合して創作されたもので、異なるものである。地域に伝承されてきたさんさ踊りを「伝統さんさ」と呼ぶ。</p> <p>「大沢さんさ踊り」は滝沢市大沢地区に永年伝承されてきたさんさ踊りで、その初見記録としては、大正 10 年、当時の橋場線（現田沢湖線）開通式の際に、祝賀式典で踊った際の写真が残る。また当時の踊り手の証言によれば「踊りを依頼されるとまず庭先で踊り、座敷に上げられごちそうをいただくと今度は座敷踊りを披露した」とあることから、伝承する地域内で家々を回りながら踊る、集落の職能的盆踊り集団として機能していたことがわかる。祝事などにも駆け付けていたのは、そうした役割を兼務していたからであろう。</p> <p>演目は 10 番。「大沢一番」「大沢手合わせ」「大沢礼踊り」など「大沢」を冠した地域独自の舞に加え、当地に伝承される他の民俗芸能、例えば「田植え踊り」の舞に着想を得て、若苗に見立てた「あや」と呼ぶ小道具を持って田植えの様子を表現する「田植え踊りくずし」や、「神楽くずし」「茶屋微視くずし」等、地区の他の民俗芸能の要素を副演出して取り入れながら伝承してきた、地域性の濃密な芸能要素に、高い価値が認められる。</p> <p>現在、小学生 12 名、中学生 7 名を含む 70 名で保存会を組織。地域に深く根差したさんさ踊りとしての伝承的価値、滝沢市に数少ないさんさ踊り活動集団の一つとして、今後の伝承活動の可能性が高く評価される。</p>
参 考 事 項 参 考 文 献	<p>映像資料を保存</p> <p>『岩手 20 世紀：写真でつづるあの日あの時』（2000 年 5 月，岩手日報社）， 『大沢田植踊』（岩手県滝沢村文化財調査報告書第 11 集，1990 年 3 月）</p>

滝沢市所在指定文化財（現行）

種別	種別	名称	所在地	保存団体	選定年月日
(国) 国指定	国選択 (1)	チャグチャグ馬コ 記録作成等の措置を構はずべき無 形の民俗文化財：文化庁選定	盛岡市 滝沢市	チャグチャグ馬コ保存会 チャグチャグ馬コ同好会	S53. 1. 31
	史跡名 勝天然 記念物	天然記念物 (1)	岩手山国有林内	農林水産省	S3. 2. 7
	名勝 (1)	イーハトーブの風景地 (鞍掛山)	上岩手山	滝沢市	H17. 3. 2
(県) 県指定 文化財	史跡 (2)	日向一里塚	大釜中道	日向秀逸	S44. 6. 6
		湯舟沢環状列石	湯舟沢	滝沢市	H25. 11. 5
	民俗芸能 (1)	篠木神楽	篠木中村	篠木神楽保存会	H23. 5. 10
(市) 市指定 文化財	考古 資料 (3)	大釜館遺跡7号構跡出土土器19点	湯舟沢	滝沢市教育委員会	H22. 3. 29
		足形付土版1点	湯舟沢	滝沢市教育委員会	H25. 7. 30
		人体文付深鉢1点	湯舟沢	滝沢市教育委員会	H25. 7. 30
	民俗 芸能 (3)	川前神楽	野沢	川前神楽保存会	S52. 12. 10
		滝沢駒踊り	大崎	滝沢駒踊り保存会	S59. 6. 19
		大沢田植踊り	大沢長坪	大沢田植踊り保存会	S61. 7. 26
	史跡 (4)	餓死供養塔(4基)	鶉飼狐洞	滝沢市	S42. 3. 1
		追分けの碑(2基)	巣子	岩手山神社	S54. 10. 1
		鹿角街道菊塚一里塚	巣子	家畜改良センター岩手農場	S56. 5. 28
		八幡館山遺跡	大釜白山	個人5名、東北電力(株)	H22. 3. 29
	天然 記念物 (5)	田村神社のスギ・カツラ	篠木上篠木	田村神社	S42. 3. 1
		春子谷地湿原植物群落	岩手山	滝沢市	S44. 4. 26
		角掛神社の五龍のフジ	湯舟沢	角掛神社	S53. 10. 2
		山神社クリ・スギ・ベニイタヤ	鶉飼姥屋敷	山神社	S54. 4. 18
		チョウセンアカシジミ	巣子		S62. 6. 30

(国選択・指定3件、県指定3件、市指定15件 合計21件)

滝沢市所在指定文化財（新規指定後）

種別	種別	名称	所在地	保存団体	選定年月日
(国) 国指定	国選択 (1)	チャグチャグ馬コ	盛岡市 滝沢市	チャグチャグ馬コ保存会 チャグチャグ馬コ同好会	S53. 1. 31
		記録作成等の措置を構はずべき無形の民俗文化財：文化庁選定			
史跡名勝天然記念物	天然記念物 (1)	岩手山高山植物帯	岩手山国有林内	農林水産省	S3. 2. 7
	名勝 (1)	イーハトーブの風景地（鞍掛山）	上岩手山	滝沢市	H17. 3. 2
(県) 県指定文化財	史跡 (2)	日向一里塚	大釜中道	日向秀逸	S44. 6. 6
		湯舟沢環状列石	湯舟沢	滝沢市	H25. 11. 5
	民俗芸能 (1)	篠木神楽	篠木中村	篠木神楽保存会	H23. 5. 10
(市) 市指定文化財	考古資料 (3)	大釜館遺跡 7号構跡出土土器 19点	湯舟沢	滝沢市教育委員会	H22. 3. 29
		足形付土版 1点	湯舟沢	滝沢市教育委員会	H25. 7. 30
		人体文付深鉢 1点	湯舟沢	滝沢市教育委員会	H25. 7. 30
	民俗芸能 (5)	川前神楽	野沢	川前神楽保存会	S52. 12. 10
		滝沢駒踊り	大崎	滝沢駒踊り保存会	S59. 6. 19
		大沢田植踊り	大沢長坪	大沢田植踊り保存会	S61. 7. 26
		滝沢市さんさ踊り	鶉飼	滝沢市さんさ踊り保存会	
		大沢さんさ踊り	大沢	大沢さんさ踊り保存会	
	史跡 (4)	餓死供養塔（4基）	鶉飼狐洞	滝沢市	S42. 3. 1
		追分けの碑（2基）	巣子	岩手山神社	S54. 10. 1
		鹿角街道菊塚一里塚	巣子	家畜改良センター岩手農場	S56. 5. 28
		八幡館山遺跡	大釜白山	個人5名、東北電力(株)	H22. 3. 29
	天然記念物 (6)	田村神社のスギ・カツラ	篠木上篠木	田村神社	S42. 3. 1
		春子谷地湿原植物群落	岩手山	滝沢市	S44. 4. 26
		角掛神社の五龍のフジ	湯舟沢	角掛神社	S53. 10. 2
		山神社クリ・スギ・ベニイタヤ	鶉飼姥屋敷	山神社	S54. 4. 18
		チョウセンアカシジミ	巣子		S62. 6. 30
		カワシンジュガイ	市内河川		

(国選択・指定3件、県指定3件、市指定18件 合計24件)

文化財指定までの流れ

1月20日	(金)	令和4年度第1回滝沢市文化財調査委員会議	
		滝沢市指定文化財の諮問及び答申について	滝沢市文化財調査委員設置条例第2条
		・天然記念物 カワシンジュガイ	
		・無形民俗文化財 滝沢市さんさ踊り	
		・無形民俗文化財 大沢さんさ踊り	
1月20日	付け	文化財調査委員会議での答申	文化財調査委員長名で教育長への答申
2月7日	(火)	政策調整会議にて報告	
2月27日	(月)	滝沢市教育委員会議にて議決	
2月27日	付け	告示	
		・天然記念物 カワシンジュガイ	滝沢市文化財保護条例第31条第1項
		・無形民俗文化財 滝沢市さんさ踊り	滝沢市文化財保護条例第27条第1項
		・無形民俗文化財 大沢さんさ踊り	滝沢市文化財保護条例第27条第1項
2月27日	付け	通知	
		・無形民俗文化財 保存団体への通知	
		・無形民俗文化財 指定書の交付	滝沢市文化財保護条例第4条第6項
2月27日	付け	岩手県教育委員会、文化庁への報告	文化財保護法第182条第3項
3月1日	(水)	記者会見	
3月1日	(水)	指定書交付式	